

科目名		テーマ		
韓国語 I B		初級韓国語		
担当者名	配当年次	単位数	学科	選択・必修 / 指定科目
山田 紀 浩	1	2	経済情報学科	選択必修

[授業の内容・到達目標]

<p>韓国語 I A を履修した学生が履修する科目である。韓国語は日本人にとって非常に学びやすい外国語である。語順が同じであるため、短い名詞文であるならば、簡単な文体に単語をはめ込むだけでできあがる。しかし日本語もその文字である“ひらがな”“カタカナ”が分からなければ、簡単な文章でも読み書きができない。そのために韓国語 I A の授業では、まず韓国語の文字であるハングルについて、その書き方・読み方について学習し、単語の読み書きを反復練習しながらハングル文字を完全にマスターすることとし、そしてその後韓国語の基礎文法を学び、簡単な自己紹介や会話ができるようになることを目的とした。その基礎コースを履修した学生が、この韓国語 I B の授業においては、初級レベルの韓国語をマスターすることを目的とする。文法的に韓国語 I A では名詞文の肯定、疑問、否定形を学習した。韓国語 I B においては動詞・形容詞の肯定、疑問、否定形を学習する。韓国語と日本語は語順は同じであるが、動詞と形容詞の活用がことなる。特にこの部分を混乱しないよう履修してほしい。また語学以外にも、ビデオや歌を通し韓国を身近に感じられるようにし、韓国を身近に感じられるようにする。</p> <p>この授業の到達目標は、韓国語のレベルを基礎か初級レベルに挙げ、文法的には特に動詞・形容詞文の肯定、疑問、否定形（かしこまった表現、打ち解けた表現）をしっかりと理解することである。</p>

[授業方法]

<p>教科書にそった授業を行うために教科書が必ず持参すること。 事前に教科書の単語を学習してくること。 韓国語に触れる目的でビデオや歌を鑑賞することもある。</p>
--

[成績評価の方法]

①授業への参加態度	10%
②課題レポート	30%
③期末試験成績	60%

[テキスト]

[参考文献]

オムジョンミ「アンニョンハングンマル」(朝日出版社)	長谷川由起子「コミュニケーション韓国語」(白帝社) 油谷幸利・南相瓔「総合韓国語 1」(白帝社) 油谷幸利・南相瓔「総合韓国語 2」(白帝社)
----------------------------	---

[履修上の注意・その他]

ノートは必ず執ること。

[授業計画]

実施回	内 容
1	イントラダクション 春学期内容名詞文の復習
2	イントラダクション 春学期内容名詞文の復習
3	名詞文章の復習 漢語数詞並びに固有数詞の復習

4	名詞文章の復習 漢語数詞並びに固有数詞の復習	
5	数え方の単位について ～をください。	
6	数え方の単位について ～をください。	
7	～と ～と 会話練習 (市場等)	
8	～と ～と 会話練習 (市場等)	
9	～年～月～日～曜日 年齢の表現	
10	～年～月～日～曜日 年齢の表現	
11	時計の読み方 ～から～まで	
12	時計の読み方 ～から～まで	
13	存在詞の肯定文、疑問文 存在詞のうちとけた表現とかしこまった表現	
14	存在詞の肯定文、疑問文 存在詞のうちとけた表現とかしこまった表現	
15	韓国語の歌やビデオを通し、韓国文化ならびに韓国語に触れてみる。	
16	韓国語の歌やビデオを通し、韓国文化ならびに韓国語に触れてみる。	
17	動詞文について 肯定文と疑問文	
18	動詞文について 肯定文と疑問文	
19	陽母音と陰母音とその活用について	その練習
20	陽母音と陰母音とその活用について	その練習
21	動詞文のうちとけた表現の縮約形について その練習	
22	動詞文のうちとけた表現の縮約形について その練習	
23	動詞文のうちとけた表現の変則活用について その練習	
24	動詞文のうちとけた表現の変則活用について その練習	
25	～を、～で、～ます。 そして、～たち、～と一緒に、～兼の表現	
26	～を、～で、～ます。 そして、～たち、～と一緒に、～兼の表現	
27	動詞、形容詞を使ったいろいろな表現	
28	動詞、形容詞を使ったいろいろな表現	
29	秋学期学習内容の総復習	
30	秋学期学習内容の総復習	